



本校の前身、県立金沢董台高等学校の開校時に発表された逍遙歌(しょうようか：学生歌などの意)「真実(まこと)のしるし」の一節より拝借いたしました。みなさんの学校生活を応援する意味をこめて、図書館だよりをお届けします。

季節をあらわす七十二侯のうちの1つ。

空気が冷えて草木を濡らす露が白く輝いたように見えるこの時期。「白」には穢れのない無垢なイメージがありますが、再生の意味もあるようで、神様からの自然の恵みである稲の収穫や、それがやがて「白米」になることを考えると、「秋」と「白」のつながりを感じます。

新学期が始まり、早や1週間。気持ちをあらたに実りある学校生活を過ごしましょう。

-季節の言葉-

草露白

(くさのつゆしろし)

2学期 朝読書スタート!!



読書は脳の
ダンベル体操



脳が専門の医学博士 築山隆さんは「読書は脳を鍛えるために不可欠な方法」と指摘します。

筋肉を鍛えるためには自分が運動をするのと同じように、脳も使うことで鍛えられます。そのためには脳全体を使う必要があるのですが、読書は、

本を選ぶ・目で活字を見る・言葉の意味を理解し、解釈するページをめくったり、紙のにおいを感じる・声に出して読んでみるなど、あらゆる感覚を使うので、脳をフル活用できるそうです。

また読む時間帯も大切。朝は1日の始まりで体も活動を始めようとしているとき。朝の読書で脳の血流がよくなり、脳の活動にもはずみがつくのです。脳科学者の茂木健一郎さんも

「朝は脳のゴールデンタイム」

と指摘しています。脳の調子が良い朝に適度な負荷をかけて脳を鍛えるのが「朝の読書」なのです。

図書委員と常連さん
のおすすめ本Vol.3

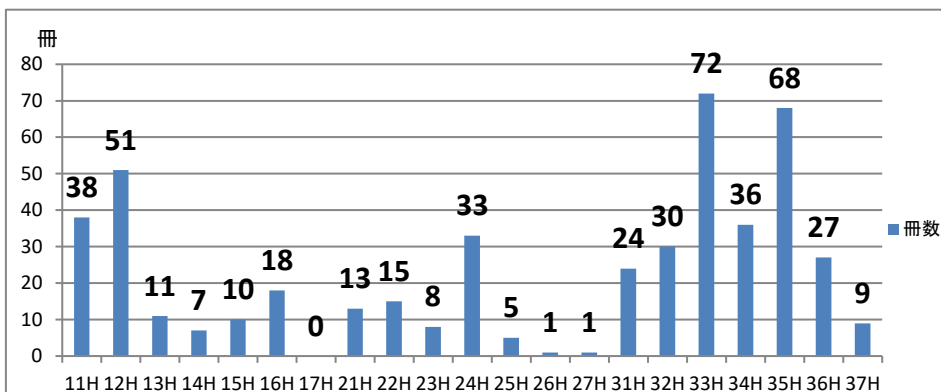
深夜特急/沢木耕太郎著

インドのデリーから乗り合いバスでロンドンまで、筆者の旅行記をもとに書かれた本。バックパッカーの間で有名なこの本を読めば、きっと海外旅行に行きたくなるでしょう！この本を読んで酔狂な旅にでませんか？(2年 男子)

ナミヤ雑貨店の奇蹟/東野圭吾著

起承転結がはっきりしていて、とても読みやすかった。途中で出てくる話は繋がっていないように思えるが…。9月23日に映画が公開されるので、映画を観る前に読んでおいた方が良い作品だ。

(3年 男子)



図書館利用統計
(H29.7.1~8.31)

生徒貸出総数	477冊
開館日数	37日
1日平均貸出数	12.8冊
入館者数	3,014人